

# Case Study: 医療機器（ディスポーザー） 予算遵守型グローバルSCM/S&OP

## 事業環境と問題点

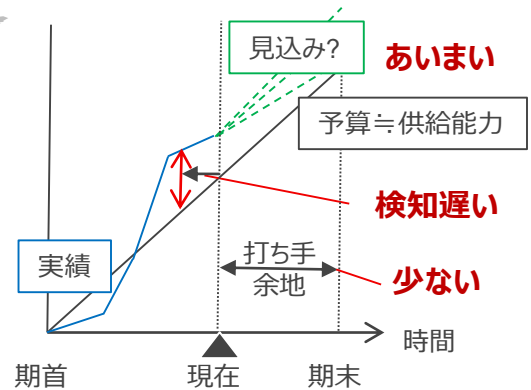
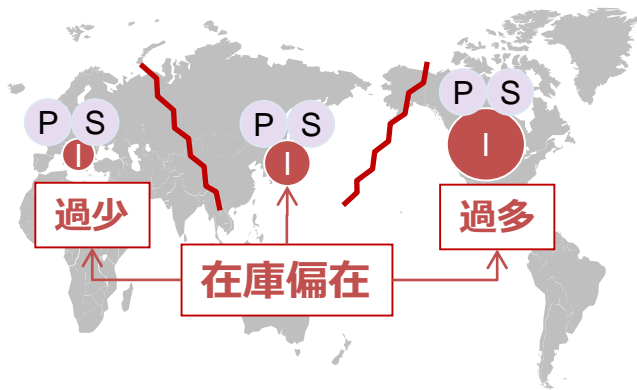
グローバル医療機器ならではの外部環境、コア部品内製による供給制約等の内部環境下で在庫偏在の発生とリカバリーのための予算乖離リスクがありました。

### 外部環境

- ✓ 許認可状況に沿った商・物流変更
- ✓ 海外:入札中心(需要変動)
- ✓ 国内:公定価格改定(トレンド変化)

### 内部環境

- ✓ 保守的な販売予算(上振れリスク)
- ✓ 完全内製コア部品の供給制約
- ✓ グローバルでSCM情報が断片化

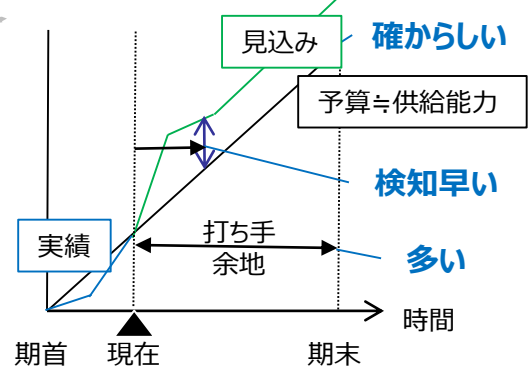
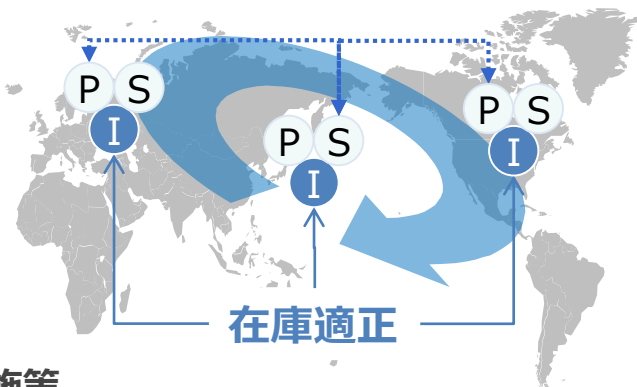


## 改革の概要

SCPにより内外環境下で安定供給を維持するための適正在庫配置を行う。さらに予算との比較・評価・意思決定のためにS&OPが必要でした。

### 狙い

- コア部品供給能力の前提となる予算との早期ギャップ検知・打ち手設定
- 常にSCM関係者間でApple-to-Appleとなる意思疎通の実現
- 適正なグローバル在庫配置・基準の設定と実行

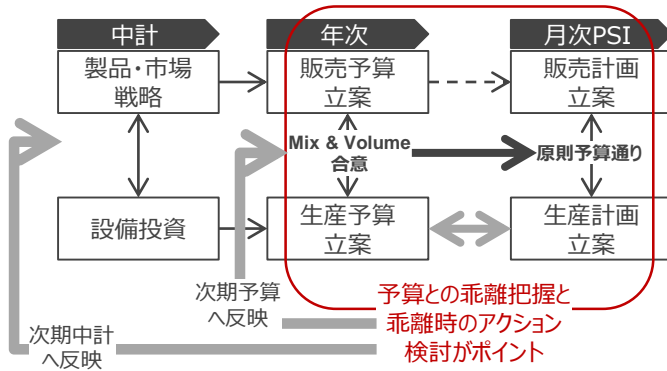


### 施策

- 予算整合性重視のグローバルSCM/S&OP業務プロセスの構築
- グローバルSCM/S&OP業務・情報コラボレーション基盤の導入
- 収集したグローバルSCM情報による在庫配置・基準シミュレーション など

\* SCP : Supply Chain Planning

### 施策. 予算整合性重視のグローバルSCM/S&OP業務プロセスの構築



予算時に銘柄別にコア部品の年間供給量を決定。  
月次PSIでは原則予算遵守。ギャップ時はコア部品供給可能範囲内で製品Mix変更で調整します。

海外・国内ともに需要を読むことは困難です。  
読みが外れることを前提とした予算見直しプロセスを既定。年初予算と見直し後予算との比較を可能としています。

		Q4			Q1		Q2		Q3	Q4
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
年初予算	立案・反映タイミング		▲							
	対象期間									
見直し予算	立案・反映タイミング							▲		
	対象期間									
PSI比較対象	年初予算									△ (参考)
	見直し予算									

切り替え

### 施策. グローバルSCM/S&OP業務・情報コラボレーション基盤の導入

取り組みの狙い実現に適したツールを選定。情報の統合・一元・視覚化と整合・統制を実現しました。  
さらにこれらの情報を在庫配置設定に活用しています。

ツール種類	計画ロジック	視覚化・分析	コラボレート	プロセス・情報統制	意思入れ
S&OPツール	弱	中			可
大手SCPツールA	強	中	弱	中	可
大手BIツールB	無		弱	中	不可

### Why QUNIE ?

SCM/S&OP方法論はもちろん、業種・業態を問わない多様なSCM/S&OP業務構築経験、ツールにとらわれない顧客視点でのツール選び・導入経験、これら豊富な経験に基づいたプロジェクト立ち上げ～企画～設計～構築～移行から新業務の定着化に至るまでの現場視点での支援を評価され、クニエが選ばれました。

株式会社 QUNIE

〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F  
TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293  
Email: info@qunie.com http://www.qunie.com

Trusted Global Innovator  
NTT DATA Group

NTT DATA